

草津市立
老上中学校
学校だより
R4(2022). 6. 21

老中魂

「校訓」
「自主・創造」
文責 竹田 敏彦

《中学校生活で「主体性」を身に付けよう！》

中学校は、義務教育最後の3年間とよく言われます。これは、義務教育を修了する前に、社会に出るための準備をするところという意味です。では、この準備とは様々なものが考えられますが、私は「主体性を身に付けること」だと思えます。よく似たような言葉で「自主性」という言葉があります。「自主性」と「主体性」で共通する点としては、「言われなくても行動ができる」ということが挙げられます。では、「自主性」と「主体性」は何が違うのでしょうか。「自主性」とは、あらかじめ決められた目的や目標を、自ら率先して行うことを言います。「主体性」とは、自ら目的や目標を設定し、それに向かって行うことを言います。主体性がある人は、自らの意志で行動を選択し、「自分で決めたことだから」と、最後まで責任を持って取り組むことができます。「主体性」の対義語は「指示待ち」です。誰かに何かを指示されないと動けない、受動的な状態を指します。中学校生活の様々な活動で「主体性」を身に付け、3年生の進路選択の時に、「主体性」を持って取り組める生徒に育ってほしいと願っています。



《学校生活におけるマスクの着用について》

6月に入り、新型コロナウイルスの感染状況は下降傾向にありますが、まだまだ油断できない状況ではあります。引き続き感染防止対策の徹底のご協力をお願いします。

さて、先日厚生労働省よりマスクの着用の考え方及び取扱い方について公表され、滋賀県教育委員会より通知がありました。通知では、特にこれから夏季を迎えるにあたり、マスクの着用で熱中症のリスクが高まる恐れがあることから、学校生活においてマスクの着用が不要な場面についてより具体の場面に即して明確化されています。下記について改めてご留意いただきますようお願いいたします。

- マスク着用の考え方について
 - ・マスクの着用は引き続き基本的な感染対策であること。
 - ・屋外において身体距離が確保できない場合でも会話をほとんど行わない場合についてはマスク着用の必要がない。
 - ・引き続き、マスクの着用を含めた基本的な感染対策（手指衛生や換気など）を徹底していくとともに、マスク着用に関する考え方を丁寧に周知する。
- 学校生活においてマスクの着用が不要な場面
 - ・十分な身体的距離（2mを目安）が確保できる場合は、マスク着用は必要ない。
 - ・気温、湿度や暑さ指数が高い日には、熱中症などの健康被害が発生する恐れがあるのでマスクを外す。
 - ・運動場に限らず、プールや体育館も含む体育の授業の際は、マスクの着用は必要ない。ただし、十分な身体的距離を確保する。運動部活動についても、体躯の授業に準ずる。
 - ・夏場においては、登下校時にマスクを外してもよい。

中体連第3ブロック(A・B)陸上競技選手権大会

令和4年6月7日(火)に、野洲市希望が丘運動公園陸上競技場に於いて、第3ブロック陸上競技選手権大会が開催されました。コロナの影響で開催されるか心配しましたが、感染対策を行いながら開催することができ大変うれしく思います。この日はあいにく、風も強く肌寒い気候ではありましたが、競技場の中は選手たちの熱気であふれていました。



前期 生徒総会開催

6月2日(木)に前期の生徒総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためリモートでの開催となりましたが、生徒会の各委員会からの説明等を聞き、それに対する質問や意見をまとめたうえで総会が行われました。リモートながらも各クラスからは承認の拍手が聞こえていました。



ユニセフ募金活動

生徒会のメンバーが、何か自分たちで出来ることはないかと意見を出し合い、ユニセフ募金活動を6/6(月)～6/10(金)まで行いました。生徒会のメンバーは、集まった募金は少しでもユニセフ活動に役立ててほしいと願い、頑張って募金活動を行ってくれました。

